

**平成29年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 商工労働 課

1. 基本情報

1101

施設名	伊丹市立産業・情報センター		
施設の設置目的	産業の振興並びに情報化の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 活力ある地域産業の振興と創出 主要施策： 地域産業の振興と創出		
指定管理者の名称	伊丹商工会議所 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前2-2-2		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	延べ利用人数 (単位： 人)	
	指標の意味	来館者＋インターネットでの利用者数	
	今年度の目標値	100,000	今年度の実績値 93,659

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H25	H26	H27	H28	H29(上期)	H29(通期)
	来館者数(人)		61,701	71,071	64,664	63,369	64,323	16,037
貸し室稼働率(%)		72	96	99	99	99	99	99
講座開催回数(回)		129	487	554	590	622	275	582
講座参加者数(人)		1,362	10,554	9,466	8,138	6,812	3,011	6,559

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		区分	平成27年度(2015)	平成28年度(2016)	平成29年度(2017)	3カ年平均
収入		使用料収入	0	0	0	0
		事業収入	1,084	918	992	998
		その他	961	1,043	562	855
		指定管理委託料	52,668	55,793	53,019	53,827
		①合計	54,713	57,754	54,573	55,680
支出	維持管理	光熱水費	5,228	4,659	4,808	4,898
		清掃等委託料	7,590	7,587	7,571	7,583
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,040	3,540	1,573	2,051
	運営	人件費	28,922	27,133	28,050	28,035
		事業等経費	10,690	9,825	10,880	10,465
		その他	1,175	1,848	1,186	1,403
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	54,645	54,592	54,068	54,435	
純収支(①-②)			68	3,162	505	1,245

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H24	H25	H26	H27	H28	H29
	市の収入	4,197	4,818	5,034	4,790	4,940	5,056
	(内、使用料収入)	3,832	4,525	4,720	4,455	4,636	4,787
	市の支出	54,598	54,411	54,378	52,980	56,090	56,101
	(内、指定管理委託料)	54,116	53,930	53,919	52,668	55,793	53,019
実質経費(歳出-歳入)		50,401	49,593	49,344	48,190	51,150	51,045

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	毎日清掃を実施	A	・館内は常に清潔に保たれている。 ・修繕については設備の故障等が生じた際は、協議を行い実施している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B	定期的実施	B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B	計画的に管理	B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B	都度相談を実施	B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B	適切に実施	B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	適切に配置	B	・職員については年度途中で正規職員1名が臨時職員に代わったものの、館の運営上必要な人員を配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B	適切に実施	B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	適切に配置	B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を完備	B	・従事者の緊急連絡網があり、消防訓練も行われている。
		避難訓練を実施しているか。	B	年2回実施	B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	顧客目線で運営	B	・利用者アンケートや受講者アンケートを実施し、利用者の満足度の増加に努めるとともに、トラブル等に対して適切に対応している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B	顧客目線で運営	B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B	適切に対応	A	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B	適切に運営	B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	ほぼ予定通り実施	B	ほぼ予定通り実施
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B	ほぼ予定通り実施	B	ほぼ予定通り実施
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	適切に保管	B	適切に管理
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B	適切に管理	B	適切に管理
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B	積極的に実施	A	積極的に実施
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適正に運営	B	適正に運営
経理処理は、適切に行っているか。		B	適切に処理	B	適切に処理	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	協定書、仕様書等に基づく管理運営が適正に行われており、事業についても計画どおりに実施されているなど、良好な施設運営が図られている。館の利用者の減少要因については、原因を確認し、平成30年度以降の運営において改善するよう努める。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「A」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	Q1. 施設内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。 ⇒はい391件、いいえ0件、未回答0件	備品・建物部分について破損等の連絡があった事案は、都度確認し適切に対応を実施。
回答者数	Q2. 破損したまま放置されている備品・用具や建物部分はありませんか。 ⇒ない385件、ある6件、未回答0件	
391件	など	

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
-	-
-	-